

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学部では、高い知性、善美な情操、高雅な徳性を備え、音楽を实践する上で必要な理論に基づいた技能、知識を有し、様々な環境・文化の中で社会に貢献できる人間性をもって自立した音楽の専門家となる能力を修得し、所属する学科での審議および学部教授会を経て学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士の学位を授与します。</p>	<p>本学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、音楽の専門家養成の方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>音楽を用いて社会を豊かにするため、音楽関連科目を主軸にした幅広い分野を総合的に学習するカリキュラムを組みます。</p> <p>基礎教育科目においては語学や情報処理・活用のスキルなどの向上を目指す科目のほか、アクティブ・ラーニングにより論理的思考力やコミュニケーション力を高める科目を設定します。</p> <p>専門教育科目では音楽実技や理論、音楽史などを専修に応じて演習や実習を含む様々な形で学習します。</p> <p>社会に貢献できる女性を育成するため、系統的に科目を設定します。学習を積み重ねることによって、社会で活動する上で必要な音楽的技術や知識を身に付けさせます。</p> <p>卒業時の卒業演奏や卒業論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>本学部は「立学の精神」や教育目的に賛同し、本学部の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性の入学を求めます。</p> <p>①音楽を深く愛する心と明確な目的意識を有している。 ②幅広い教養と基礎学力を有し、音楽に関する専門家として社会に貢献したいという強い意欲を持っている。 ③高度な専門性と深い知識や技術、教養を身につけるために、勉学に励み研鑽を積み積極性を持っている。 ④人間性およびバランスのとれた国際感覚を備えた音楽に関する専門家を目指す意欲を持っている。</p>